

第128報

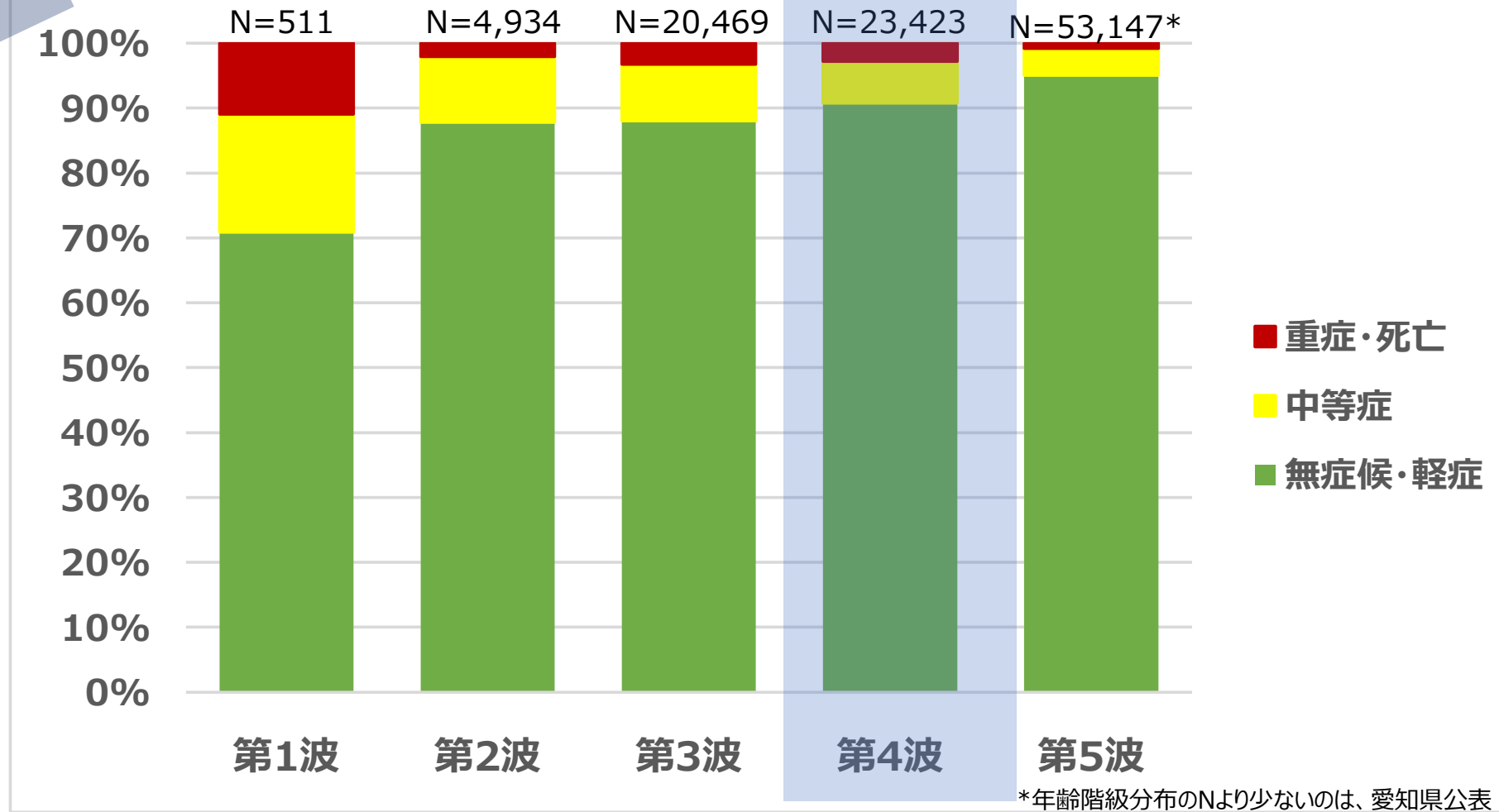
# オミクロン株による第6波の規模予測

## 南アフリカ共和国をモデルに到来するであろう愛知県のオミクロン株による第6波の規模を予測

### 前提条件：

- ①ワクチンのブースター接種は間に合わず、オミクロン株に対するワクチンの予防効果がない状況で第6波は襲来、社会的な行動規制は第4波当時と同程度。
- ②愛知県のアルファ株による第4波の感染者の年齢階級分布が、現在の南アフリカ共和国のオミクロン株流行の年齢階級分布に類似し、且つワクチン接種がほとんど進んでいない状況も近似しているので、愛知県のアルファ株による第4波を基準に第6波の規模を予測
- ③オミクロン株のアルファ株に較べたA.感染性・伝播性、B.重症化率、C.入院率は以下の通り

# 第1～5波の病型(割合)



\*年齢階級分布のNより少ないのは、愛知県公表資料では再感染をカウントしていない為です

愛知県の第4波の実効再生産数ピーク値は1.5、重症化率は2.8%、中等症率は6.4%、合計9.2%が中等症以上で、これが入院率に相当とします。

A.

オミクロン株の感染性・伝播性はアルファ株  
の3.2\*/1.5\*\*から約..

\*ハウテン州のピーク実効再生産数 \*\*愛知県第4波のピーク実効再生産数

2倍

B.

ハウテン州（オミクロン株）

2021.11.24～2021.12.18

感染者数 169,076人

ICU 収容数 223人

死亡数 350人

呼吸管理or酸素投与 510人

死亡数 350人

入院数 8,196人(4.8%)

573人(0.34%)

860人(0.51%)

上記はオミクロン株の震源地のハウテン州の2021/11/24～2021/12/18の25日間の累計感染者数、ICU収容数、呼吸管理or酸素投与患者数、死亡数です(NICD <https://www.nicd.ac.za/>)。愛知県第4波の重症化率2.8%と比較して、オミクロン株の重症化率はアルファ株の1/5～1/8です。

註：2021/11/24からの期間と設定したのは、11/24にそれまでのデータが更新された為です。12/18のICU在室数は276人、11/24からの増加分の223人を上記の期間の重症者数としました。上記の期間に日々新たなICU収容、ICU退室があった筈ですので、正確なICU収容数ではない事を留意ください。死亡数は12/18時点の累計死亡数28,093人から11/24時点の27,743人を差し引いた数字です。オミクロン株流行前のデルタ株感染者の死亡も含まれている事を留意ください。

B.

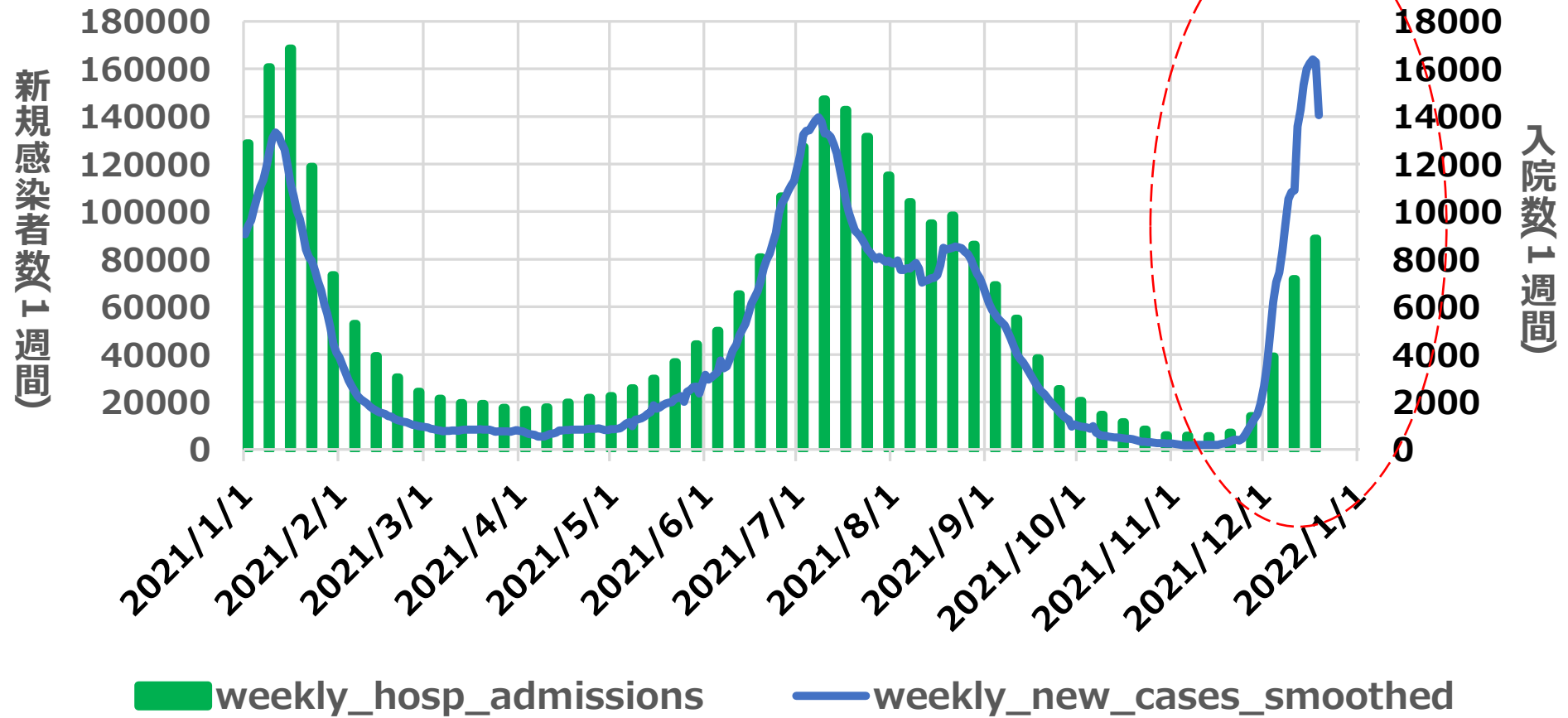
オミクロン株の重症化率はアルファ株の  
0.51\*/2.8\*\*から約・・

\*ハウテン州の重症化率 \*\*愛知県の第4波の重症化率

1/5倍

C.

南アフリカ共和国の新規感染者数(1週間),入院数(1週間)の推移



C.

オミクロン株の入院率はアルファ株の  
 $0.048^*/0.092^{**}$ から約..

\*ハウテン州の入院率 \*\*愛知県の第4波の中等症以上の割合

1/2倍



愛知県の第4波(アルファ株)

入院数 Max	1044
ICU Max	103
新規感染者数/日 Max	667

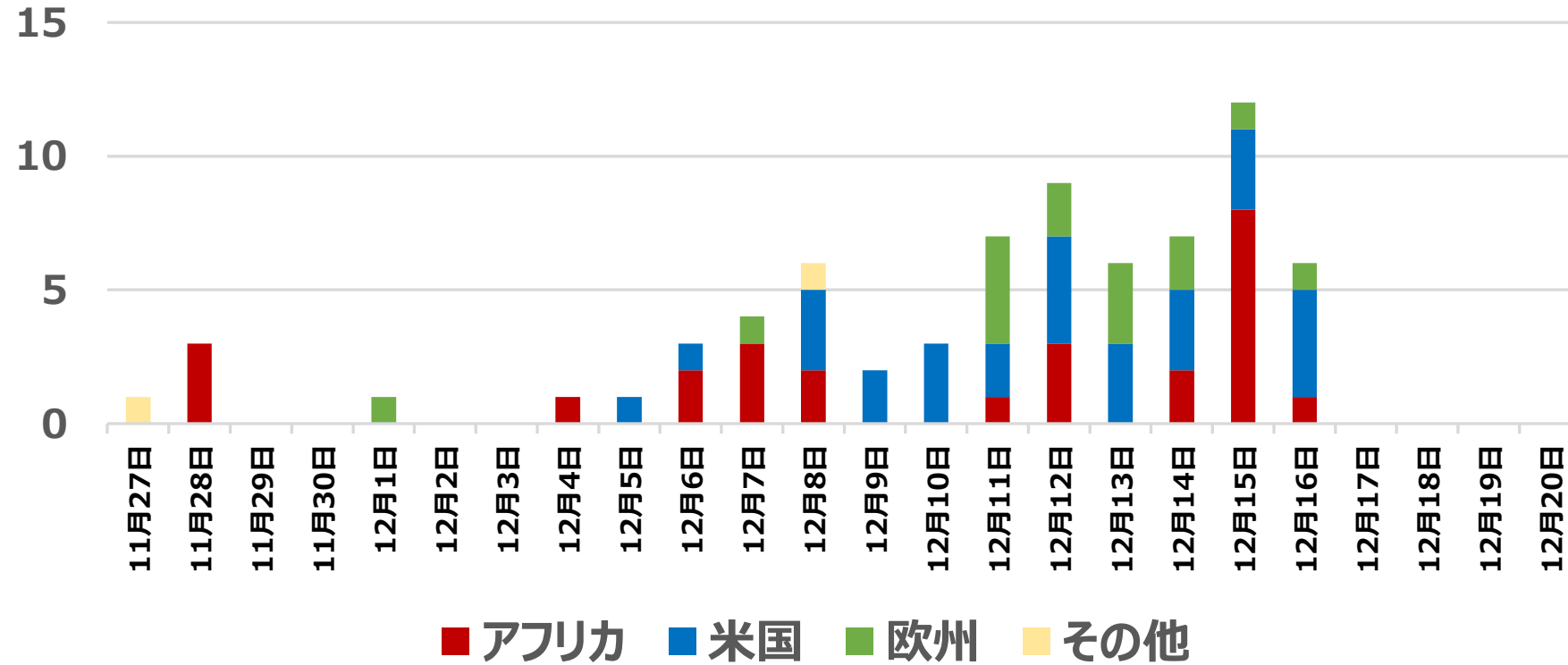
感染性・伝播性2倍  
重症化率1/5倍  
入院率1/2倍

愛知県の第6波(オミクロン株)規模予測

入院数 Max	1044	2610
ICU Max	40	103
新規感染者数/日 Max	1334	3335

↑  
西浦博先生が唱えられたデルタ株の4倍の感染性・伝播性の  
場合、アルファ株に換算すると5倍の感染性になります。

## 空港検疫でのオミクロン株感染者の推移



12/20公表時点

堤防の決壊は時間の問題…。国交省の航空券予約停止の先走りが正しかった…?! 第6波の開始時期は第4,5波の経験からは来年2月初旬です。しかし、このペースからは早まるかも…